



毎月第3日曜日は
家庭の日です

この日は一家団らんで家族揃って家庭でくつろぎ、青少年の考えや、悩みを聞いて、明るい、家庭をつくり子ども達が健康で明るく育つようにつとめましょう。

町の人口

(5月1日現在)

| | |
|-----|---------|
| 総人口 | 9,016人 |
| 男子 | 4,200人 |
| 女子 | 4,816人 |
| 世帯数 | 2,586世帯 |

いつまでも お元気でネ

このほど、市場保育園（園長立花全兵衛氏）園児60名では、恒例の老人ホームを慰問しました。園児達は毎年訪づれていますが、老人たちは、チューリップや、ペンギンさんの踊りに老顔をほころばせ、拍手をおくっていました。

〔市場保育園の老人ホーム慰問〕

町の米生産調整目標達成なる

赤池町の米の生産調整については農家の皆様の理解と協力により、県から指示された目標減反面積に達成致しました。

町の米生産調整目標数量
七八、五トン

目標面積

一九、四ヘクタール
減反比率 七、一%

以上が県より示された赤池町の調整目標であります。

赤池町としては米生産調整推進協議会を設置してその調整方法等について慎重に協議

農家よりの自主申出を執ることとなりその結果、二三、五

ヘクタール、目標面積に対し
一二・一%となっております。

調整による転作、休耕の内訳は次の通りです。

他作物への転作 六〇%
休耕四〇%

米の生産調整には転作を

国は本年度最大の課題となつた米の生産調整は米過剰の爲め、わが国総合農政推進上緊急やむを得ぬ措置としてその対策を打出したわけであり

ます。
とりわけ水稻の作付を休止することは農家経済に多大な影響を及ぼすものであり米以外の野菜、果樹、雑穀等他作物の転作を考へたいのであり

ます。

大豆

農林省は、転換作物として「大豆、ソバは、いくら作っても生産過剰の心配はありません」と宣言しています。

大豆は国が決める基準価格があるので他の豆類と違い、相場の変動がありませんので安心して作れる作物と云へます。

(土地条件)

1 排水の良好なところを選ぶこと大豆は土壌水分に対する抵抗性は強い、排水不良及び過湿の場合は立枯病などの病害が発生し易い。

2 梅雨期、秋雨期など滞水しないところを選ぶ。

3 各種土壌に栽培出来るが肥沃地では茎葉繁茂し結実不良となるから施肥に注意する。

4 連作をさげ一、二年休作する。

助役に

権原氏が再選

赤池町助役、権原誠氏の任期満了に伴う選任について議案が三月定例町議会に提出され、権原誠氏が満場一致で選ばれ、赤池町助役に再選されました。

人事

固定資産評価審査委員会

委員 皆川正登（上野）

委員 八隅重信（市場）

人権擁護委員

委員 松井 猛（赤池）

税だより

五月は軽自動車税を納めていただく月です。毎年四月一日現在で、バイク等を所有している人に、かかる税金を軽自動車税とい

町税であります。最近町内で軽自動車を所有する人が急激に増加し新しく購入した場合の届出は確実に

行われていますが、反面、他人に売った車、無償で譲った車、および現在使っていない車の役場への届出を怠っている人がおられます。

予防接種のお知らせ

- 一、三才児検診
○日 時 六月五日
午後一時～三時
○場 所 赤池町中央公民館
○料 金 無料
○該当者 満三才～四才未満の者
一、日本脳炎予防接種
○六月八日 老人ホーム
○六月九日 上野小学校
○六月十日 鋤木田公民館
○六月十一日 八区公民館
○六月十二日 赤池町中央公民館
○六月十五日 九区公民館
○六月十六日 伏原公民館
○六月十七日 炭坑中町集会所

交通事故などの被害をうけ警察や検察庁のした処分に不満の方は

検察審査会へ相談を!!

皆さんの中には交通事故、詐欺、おどし、暴力など各種の犯罪にあって、被害を受けたが、犯人は裁判されずじやうでしまった、どうも納得がゆかない、不満だがこれを誰にどうしてもらったらよいのか判らなくて、そのまま泣き寝入りになっている人はないでしょうか。

このような不満をもっている方は、どんな事件でも諦めることなく、いつでも検察審査会へご相談下さい。検察審査会は裁判所の中にあつて皆さんの「くじ」

で選ばれた十一人の検察員からなり、被害者の不満を聞いて、その事件をもう一度調べ直してみることを主な仕事としていきます。

このように検察審査会は、犯罪の陰に泣く被害者を保護救済します。相談、申立に手数料はかかりません。

田川市千代田一～五 福岡地方裁判所田川支部内 田川検察審査会事務局 (電話田川②〇一六三番)

第四回書道祭で世良絹代さんら入選

第四回書道祭がこのほど田川市体育館で行なわれ約六百点が出品されました。作品の中からただ一人世良絹代さんが県知事賞に輝きました。

○県知事賞 世良 絹代 中学一年
○入選 松岡寿子 中学一年
深見嘉之 小学四年
二場直美 中学二年
松尾矢寿子 中学二年
杉万明美 小学五年

便利になった出生・死亡・死産の届出

出生や死亡・死産の届出はこれまですべて事件発生地(出生や死亡したところ)の役場や市役所でしか受付られませんでした。しかし、このたび戸籍法の改正により四月一日からは、出生・死亡届は、あなたの本籍・現在の住所地・あるいは事件発生地、死産届は死産届

出入の所在地又は、死産がある場所のいずれの市町村長に届出してもよいことに改められ、とても便利になりました。なお、出生届は事件が発生した日から十四日以内に死亡・死産届はその事実を知った日から七日以内に届出をしなければなりません。

印かん証明交付の手続

印かん登録を受けた者が、印かん証明を受けるときは、本人が本町役場に出頭して願

い出るものとなっております。やむをえず本人が出頭できないときは代理人を出頭せしめ、印かん証明の交付を受けることができます。

但し、代理人が出頭するときには委任状を提出しなければなりません、その委任状には事実と相違ないことを保証する保証人二人の署名・押印が必要で、くわしいことは係にお尋ね下さい。

社会教育団体の手によって町公民館の庭に植樹

このほど町公民館に植樹しようとして、青年団や社会教育団体の手によって作業が行なわ



写真は植木を運ぶ青年団員

れました。近頃奉仕の気持が失われがちですが、この運動に関係者は賞讃の意を表わしています。

上野三区公民館長 定宗美 義さんに、同じ三区に住んでいる武末義信さんが、シユロの木十五本、町公民館に寄贈したいと申し出があり、この運動のはじまりで、各団体はこの善意に賛同、若い人たちはトラックを各自持ちより、掘っては運搬し、老人会婦人会、子供会の指導者は掘る作業で精を出しました。

今は木に実が稔り、夏に枝や葉が茂り、社会教育のセンターとして、住民の憩いの場となり、住民に喜ばれることでしょう。

わたくし達は今後ともこの運動を機に、協同と奉仕の気持ちを持ってはならないと痛感を受けました。

植木の寄贈者は次のとおり
武末 義信氏 上野三区
長谷川朝子氏 上野四区
世良 唯雄氏 上野一区
村上 啓次氏 市場七区
太田徳太郎氏 上野四区
太田 辰栄氏 上野四区
赤池町四季会様

自治大臣賞に輝く選挙管理委員会

先に行なわれた昭和四十四年十二月二十七日執行の衆議員総選挙にあたり、赤池町選挙管理委員会が自治大臣より表彰されたもので、今回の選挙において一致協力して選挙の適正な管理及び明るく正しい選挙の推進に努力し優れた成績を挙げたことよって表彰されたのです。

この表彰の対象となった理由は投票率がありますが町民の皆様の選挙に対する関心と御協力によって受彰されたものと選挙管理委員長(藤井良太郎)以下感謝いたしております。(赤池町選挙管理委員会事務局)

長谷川道子さん入選

昭和四十四年度の明るく正しい選挙ポスター作品募集に町内三校から二〇点出品されましたが、福岡県の審査において、長谷川道子さん(大字市場)が入選、県選挙委員長賞を受賞しました。